

2016年3月23日

ウェザーニューズ、世界最大手の Maersk Group と全船契約を締結 ～最大約 800 隻のコンテナ船・タンカー船隊の安全・環境運航をサポート～

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、海運業界において世界最大手である Maersk Group 傘下の Maersk Line（本社：デンマーク・コペンハーゲン、CEO：Søren Skou）および Maersk Tankers（本社：デンマーク・コペンハーゲン、CEO：Morten H. Engelstoft）と TFMS（トータルフリートマネージメント）サービスの提供契約を締結したと発表しました。今後、2社の運航船舶、最大約 800 隻を対象に、出港から航海中、目的地到着まで全ての運航過程において、気象・海象予測を活用した安全管理を支援する SSM（Safety Status Monitoring）サービス¹⁾と、燃料消費量の低減をはじめとする運航コストの最適化を支援する OSR（Optimum Ship Routeing）サービス²⁾を提供します。

Maersk Group は、安全運航の徹底に加えて海運事業において船舶運航に関わる CO₂ 排出量削減や環境保全に取り組んでいます。当社が提供するサービスにより一層強化、改善されることが期待されています。

当社は、欧州の海運会社へのサービス強化を目的として 2015 年 6 月にデンマーク・コペンハーゲンに航海気象サービスセンターを開設いたしました。今回の Maersk Group との取り組み開始を受けて、今後、コペンハーゲンサービスセンターを中心とした世界 5 カ国（日本、デンマーク、アメリカ、オランダ、フィリピン）の拠点から、Maersk Group の運航する全ての船に対して 24 時間 365 日、切れ目のないサポートときめ細かいコミュニケーションを行います。

ウェザーニューズは今後も海運業界のニーズに応えるため、新サービスの開発やサービス品質向上に取り組んで参ります。

1) SSM (Safety Status Monitoring) サービス

船舶の出港から航海中、目的地の到着まで、シームレスに気象・海象リスクをモニタリングし、船長および陸上オペレーターに対して一船ごとの安全管理を支援するサービス。

2) OSR (Optimum Ship Routeing) サービス

安全性最重視に加えて、最短時間、最適燃料消費など、一航海ごとの目的に応じて、安全性・経済性のバランスをとった航路やスピードを推薦する最適航海計画立案支援サービス。